

2018/10～2018/12 にっしん景況レポート

2019/1

Vol.
11



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2018年10～12月の景気の現状と2019年1～3月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2018年10～12月の実績(12月については予想)
2019年1～3月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の357社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2018年10～12月
前期 = 2018年7～9月
前年同期 = 2017年10～12月
来期 = 2019年1～3月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	154	49	22	18	26	19	20
三木地区	54	17	11	5	8	9	4
神戸地区	149	21	23	17	40	26	22
業種合計	357	87	56	40	74	54	46

● 今期の景況

今期(2018年10月～12月)の全業種における業況判断D.I.は6.2となり、前期実績と比して0.5ポイント上昇した。売上額判断D.I.は15.4となり、前期実績と比して5.2ポイントの改善、収益判断D.I.は9.8となり、前期実績と比して8.7ポイント改善した。

売上額判断D.I.の前年同期比は14.8、収益判断D.I.の前年同期比は3.4となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲44.5となり、前期実績より2.2ポイント低下し、調査開始の2016年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(2019年1月～3月)の予想業況判断D.I.は4.8と今期実績6.2から1.4ポイント低下する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は6.2、予想収益判断D.I.は▲1.1となり、いずれも今期実績から低下する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	23	75	183	67	9	357
回答割合	6.4%	21.0%	51.3%	18.8%	2.5%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 27.451\% - 21.289\% \div 6.2$$

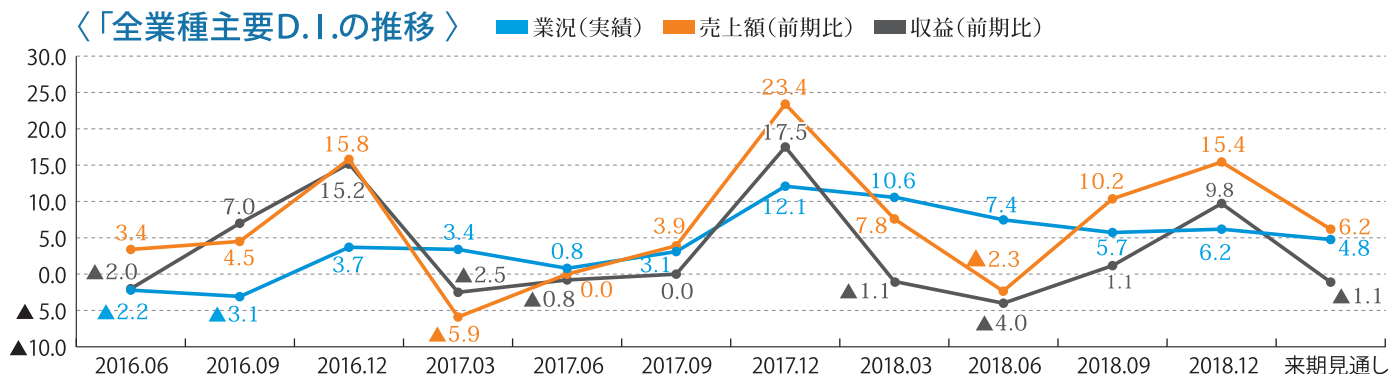
〈平成30年10～12月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	7.8	12.2	4.5	▲22.2	23.1	26.3	▲10.0
三木地区	1.9	5.9	9.1	▲20.0	12.5	0.0	▲25.0
神戸地区	6.0	23.8	▲21.7	▲17.6	2.5	50.0	▲9.1
全地区	6.2	13.8	▲5.4	▲20.0	10.8	33.3	▲10.9

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	5.7	6.2	4.8	販売価格(前期比)	8.3	9.3	6.5
売上額(前期比)	10.2	15.4	6.2	仕入価格(前期比)	33.8	35.5	25.4
売上額(前年同期比)	14.8	14.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.1	1.1	▲1.7
収益(前期比)	1.1	9.8	▲1.1	人手不足(過剰-不足)	▲42.3	▲44.5	▲42.0
収益(前年同期比)	9.1	3.4	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は13.8となり、前期実績と比して4.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は11.5、収益判断D.I.は12.6となり、前期実績と比してそれぞれ0.1ポイント、17.1ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は16.1、収益判断D.I.の前年同期比は5.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲43.7となり、前期実績から0.6ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は10.3と今期実績から3.5ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は2.3、予想収益判断D.I.は▲2.3となり、それぞれ今期実績から9.2ポイント、14.9ポイント低下する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	18.2	13.8	10.3	販売価格(前期比)	8.0	5.7	4.6
売上額(前期比)	11.4	11.5	2.3	仕入価格(前期比)	40.9	54.7	43.0
売上額(前年同期比)	17.0	16.1	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	8.0	0.0
収益(前期比)	▲4.5	12.6	▲2.3	人手不足(過剰-不足)	▲44.3	▲43.7	▲40.2
収益(前年同期比)	12.5	5.7	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲5.4となり、前期実績と比して3.6ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は25.0、収益判断D.I.は14.3となり、前期実績と比してそれぞれ17.7ポイント、14.3ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は25.0、収益判断D.I.の前年同期比は10.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額及び収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲32.1となり、前期実績から1.2ポイント低下し、さらに人手不足が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0と今期実績から5.4ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は8.9、予想収益判断D.I.は▲3.6となり、それぞれ今期実績から16.4ポイント、17.9ポイント低下する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲1.8	▲5.4	0.0	販売価格(前期比)	16.4	12.5	14.3
売上額(前期比)	7.3	25.0	8.9	仕入価格(前期比)	21.8	30.4	26.8
売上額(前年同期比)	27.3	25.0	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	▲7.1	▲17.9
収益(前期比)	0.0	14.3	▲3.6	人手不足(過剰-不足)	▲30.9	▲32.1	▲26.8
収益(前年同期比)	16.4	10.7	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲20.0となり、前期実績と比して2.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は10.0、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ17.5ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲5.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲17.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲27.5となり、前期実績から5.0ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲17.5と今期実績から2.5ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲10.3、予想収益判断D.I.は▲17.9となり、それぞれ今期実績から20.3ポイント、17.9ポイント低下する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲17.5	▲20.0	▲17.5	販売価格(前期比)	7.5	7.5	▲5.1
売上額(前期比)	▲7.5	10.0	▲10.3	仕入価格(前期比)	17.5	15.0	▲2.6
売上額(前年同期比)	▲7.7	▲5.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲25.0	▲15.0	▲15.4
収益(前期比)	▲17.5	0.0	▲17.9	人手不足(過剰-不足)	▲32.5	▲27.5	▲25.0
収益(前年同期比)	▲15.4	▲17.5	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は10.8となり、前期実績と比して9.4ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は18.9、収益判断D.I.は9.5となり、前期実績と比してそれぞれ0.6ポイント、3.9ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は32.4、収益判断D.I.の前年同期比は8.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲59.5となり、前期実績よりも1.8ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲2.7と今期実績から13.5ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は2.7、予想収益判断D.I.は▲1.4となり、それぞれ今期実績から16.2ポイント、10.9ポイント低下する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	1.4	10.8	▲2.7	販売価格(前期比)	▲2.8	12.2	9.5
売上額(前期比)	18.3	18.9	2.7	仕入価格(前期比)	41.4	37.0	26.0
売上額(前年同期比)	19.7	32.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲5.6	▲4.1	▲1.4
収益(前期比)	5.6	9.5	▲1.4	人手不足(過剰-不足)	▲57.7	▲59.5	▲59.5
収益(前年同期比)	5.6	8.1	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は33.3となり、前期実績と比して14.1ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.が22.2、収益判断D.I.が18.5となり、前期実績と比してそれぞれ3.0ポイント、5.0ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は9.3、収益判断D.I.の前年同期比は9.3となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲66.7となり、前期実績から9.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は29.6と今期実績から3.7ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は24.1、予想収益判断D.I.は11.1となり、今期実績と比して予想売上額判断D.I.は1.9ポイント改善、予想収益判断D.I.は7.4ポイント低下する見通しとなっている。

〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	19.2	33.3	29.6	販売価格(前期比)	13.5	11.1	5.6
売上額(前期比)	19.2	22.2	24.1	仕入価格(前期比)	46.2	35.2	27.8
売上額(前年同期比)	15.4	9.3	—	資金繰り(楽-苦)	15.4	11.1	18.5
収益(前期比)	13.5	18.5	11.1	人手不足(過剰-不足)	▲57.7	▲66.7	▲61.1
収益(前年同期比)	21.2	9.3	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲10.9となり、前期実績と比して13.1ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.2、収益判断D.I.は▲2.2となり、前期実績と比してそれぞれ2.1ポイント、10.9ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲4.3、収益判断D.I.の前年同期比は▲6.5となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲26.1となり、前期実績よりも6.5ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は2.2と今期実績から13.1ポイント改善する見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は8.7、予想収益判断D.I.は4.3となり、今期実績からそれぞれ6.5ポイント改善する見通しとなっている。

〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	2.2	▲10.9	2.2	販売価格(前期比)	11.1	6.8	6.8
売上額(前期比)	4.3	2.2	8.7	仕入価格(前期比)	22.7	20.9	9.3
売上額(前年同期比)	6.5	▲4.3	—	資金繰り(楽-苦)	4.3	8.7	2.2
収益(前期比)	8.7	▲2.2	4.3	人手不足(過剰-不足)	▲19.6	▲26.1	▲28.3
収益(前年同期比)	6.5	▲6.5	—				

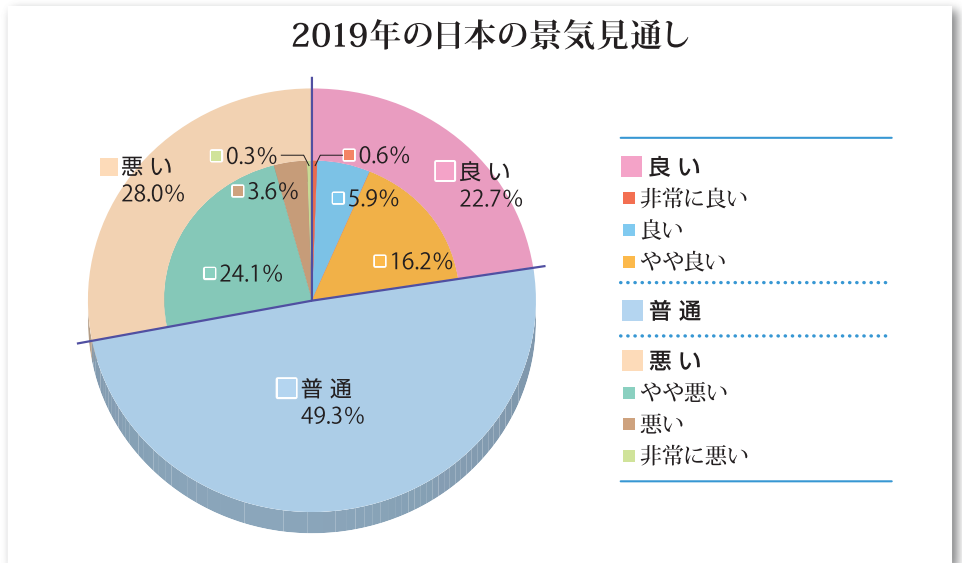
特別調査：2019年の経営見通しについて

○ ～2019年の日本の景気見通しについて～

2019年の日本の景気見通しについては、「良い」22.7%、「普通」49.3%、「悪い」28.0%となった。

「良い」のうち、「やや良い(16.2%)」が最も多く、次いで「良い(5.9%)」、「非常に良い(0.6%)」となった。

「悪い」のうち、「やや悪い(24.1%)」が最も多く、次いで「悪い(3.6%)」、「非常に悪い(0.3%)」となった。

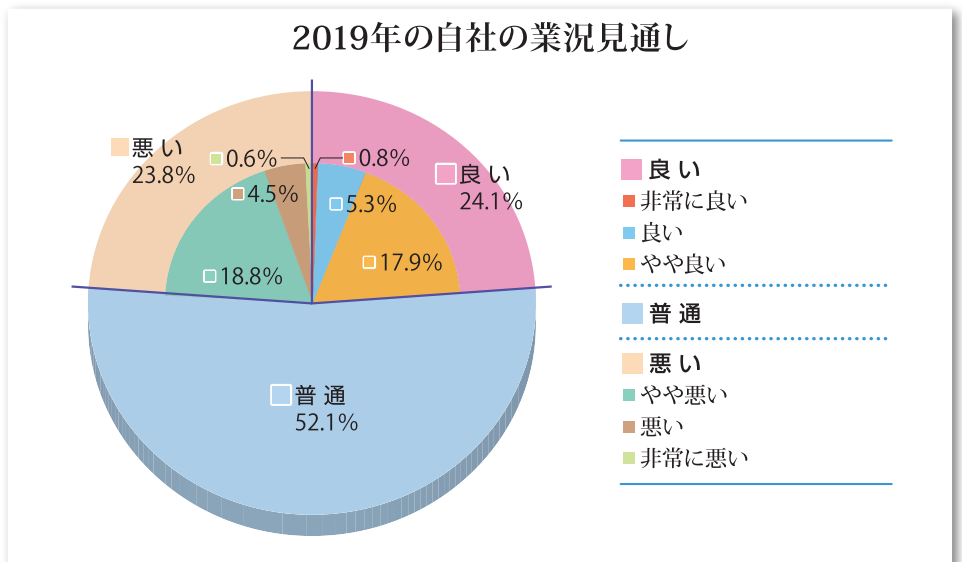


○ ～2019年の自社の業況(景気)見通しについて～

2019年の自社の業況(景気)見通しについては、「良い」24.1%、「普通」52.1%、「悪い」23.8%となった。

「良い」のうち、「やや良い(17.9%)」が最も多く、次いで「良い(5.3%)」、「非常に良い(0.8%)」となった。

「悪い」のうち、「やや悪い(18.8%)」が最も多く、次いで「悪い(4.5%)」、「非常に悪い(0.6%)」となった。

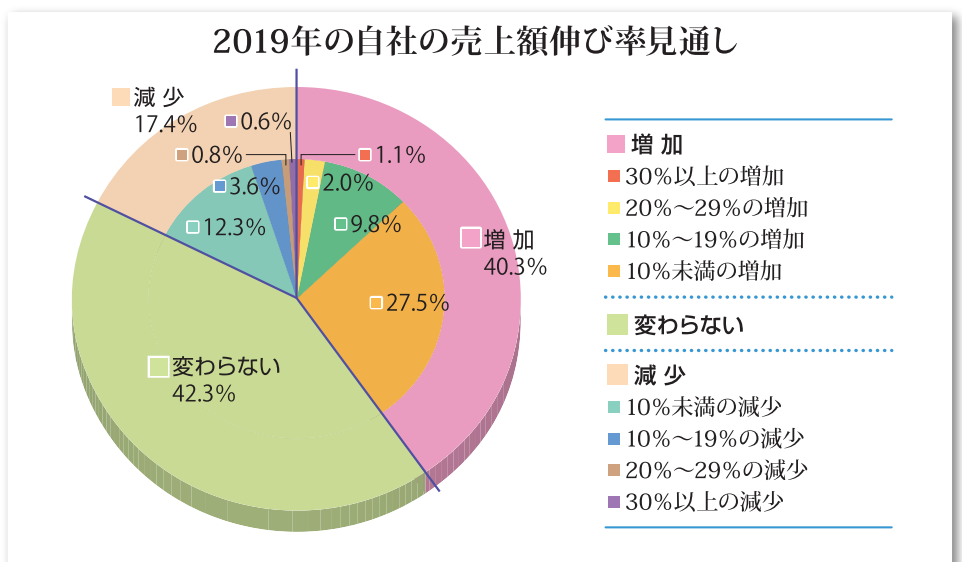


○ ～2018年と比べて2019年における自社の売上額の伸び率見通しについて～

2018年と比べて2019年における自社の売上額の伸び率見通しについては、「増加」40.3%、「変わらない」42.3%、「減少」17.4%となった。

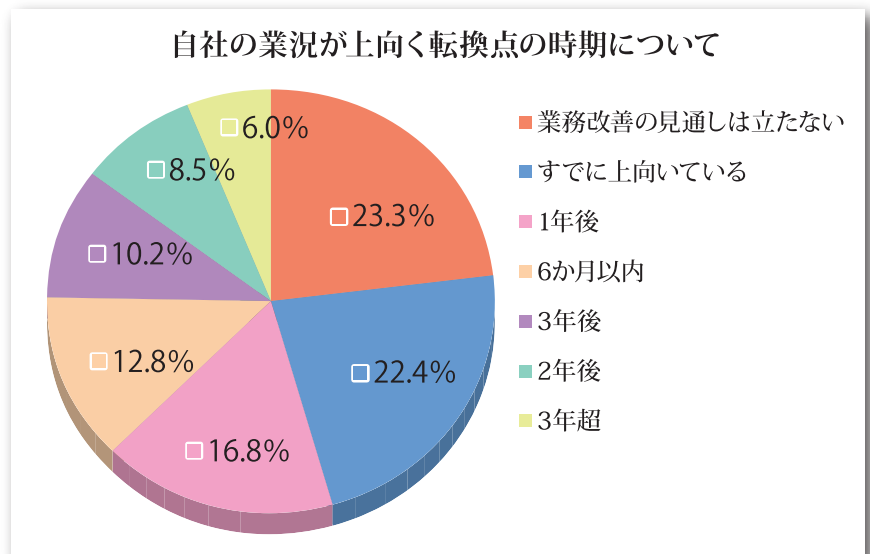
「増加」のうち、「10%未満の増加(27.5%)」が最も多く、次いで「10%～19%の増加(9.8%)」「20%～29%の増加(2.0%)」となった。

「減少」のうち、「10%未満の減少(12.3%)」が最も多く、次いで「10%～19%の減少(3.6%)」、「20%～29%の減少(0.8%)」となった。



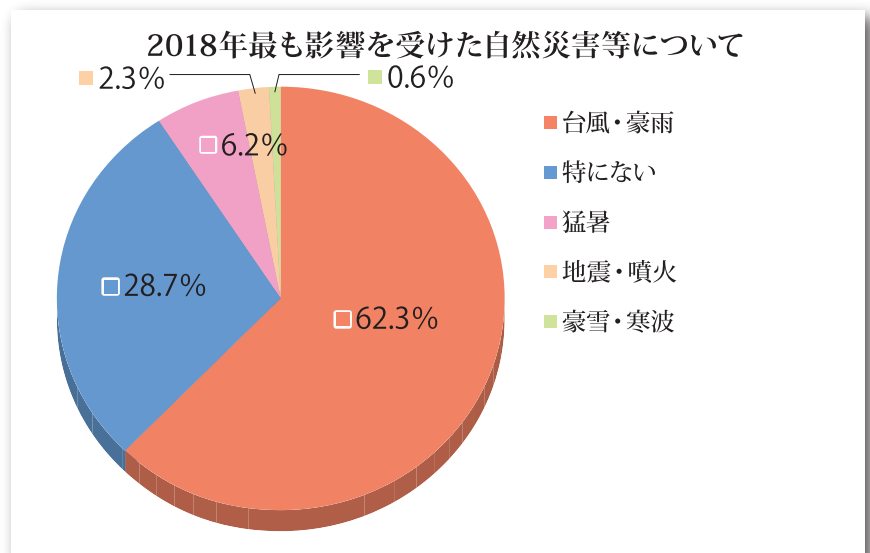
● ～自社の業況が上向き転換点の時期について～

自社の業況が上向き転換点の時期については、「業況改善の見通しは立たない(23.3%)」が最も多く、次いで「すでに上向いている(22.4%)」、「1年後(16.8%)」、「6か月以内(12.8%)」、「3年後(10.2%)」、「2年後(8.5%)」、「3年超(6.0%)」となった。



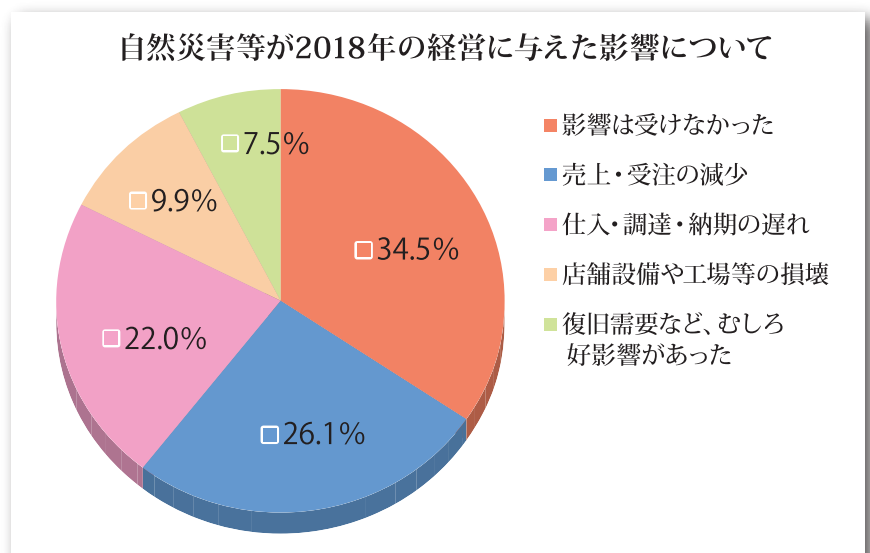
● ～2018年に最も影響を受けた自然災害について～

2018年に最も影響を受けた自然災害等については、「台風・豪雨(62.3%)」が最も多く、次いで「特にない(28.7%)」、「猛暑(6.2%)」、「地震・噴火(2.3%)」、「豪雪・寒波(0.6%)」となった。



● ～自然災害等が2018年の経営に与えた影響について～

自然災害等が2018年の経営に与えた影響については、「影響を受けなかった(34.5%)」が最も多く、次いで「売上・受注の減少(26.1%)」、「仕入・調達・納期の遅れ(22.0%)」、「店舗設備や工場等の損壊(9.9%)」、「復旧需要など、むしろ好影響があった(7.5%)」となった。



イベント関連

●事業承継セミナーを実施します！

当金庫のお客様及び明石商工会議所の会員企業様向けに以下のとおり事業承継セミナーを実施します。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 日 時:2019年2月22日(金) 14:00~16:45
- 場 所:日新信用金庫 本店8階
- 参加費:無料
- 定 員:50名
- 内 容:特例事業承継税制、承継体制づくりにフォーカスした講演です。

●経営に役立つ少人数制のセミナーを実施します！

当金庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つ少人数制セミナーを実施します。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 日 時:2019年2月19日(火) 13:30~16:00
- 場 所:日新信用金庫 玉津支店
- 参加費:無料
- 定 員:8社まで(先着順)

●「働き方改革」セミナーを実施します！

当金庫のお客様向けに以下のとおり「働き方改革」セミナーを実施します。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 日 時:2019年3月7日(木) 14:00~15:30
- 場 所:日新信用金庫 神戸支店
- 参加費:無料
- 定 員:20社

商品関連

- キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)

- 当金庫の新たな情報発信ツールとして「LINE@」をはじめました。「LINE@」では当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第11回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで